

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 企業誘致の推進について (20分)</p> <p>本市には、関越自動車道(関越道)と首都圏中央連絡自動車道(圏央道)のそれぞれにICがあります。本年6月28日に圏央道相模原愛川ICから高尾山IC間が開通し、関越道、中央自動車道、東名高速道路が結ばれました。これにより、渋滞の多い都心を経由せず、人と物の流れの円滑化が図られ、物流、観光などに大きな経済効果が見込まれております。さらに現在工事が進められている圏央道桶川北本ICから白岡菖蒲IC間が来年度開通予定であり、東北自動車道と接続することにより、更なる利便性の向上が図られることとなります。</p> <p>こうした状況において、2つのICを持つ本市は、企業が進出するのにあたって、ポテンシャルが極めて高い地域であると言えます。現在、国道407号沿いの脚折地内にベルク本社の移転工事が進められており、また、農業大学校跡地についても、県主導のもとに企業誘致が進められているところであります。</p> <p>人口の自然減が進んでいく中で、この交通網の好条件、地の利を活かし、企業誘致を進めることにより、雇用機会の拡大を図り、定住化を促し、人口増、人口の減少に歯止めをかける施策を推進していくことは、これからのまちづくり、市の活性化のために必要不可欠であると考えます。</p> <p>昨年度から都市整備部に企業立地推進室を設置し、農業大学校跡地活用を中心に、企業誘致に向けた積極的な取組みがなされているところではありますが、今後、交通網の利便性がより一層高くなっていく中で、地の利を活かした企業誘致の取組みについてお聞きします。</p> <p>(1) 農業大学校跡地活用の現状について (2) 農業大学校跡地以外の企業誘致について (3) 鶴ヶ島市南西部土地区画整理地区や富士見土地区画整理地区の現状と今後の取組みについて (4) 藤金土地区画整理事業地区の今後について (5) 工業系用途地域における大規模遊休地の活用について</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p data-bbox="183 331 1109 448">2 都市計画道路川越鶴ヶ島線、鶴ヶ島南通り線整備 及び鶴ヶ島市運動公園 2 期整備について (20分)</p> <p data-bbox="167 504 1133 728">先月 6 日に都市計画道路川越鶴ヶ島線及び鶴ヶ島南通り線測量説明会が、鶴ヶ島農村センターで行われ、計画線にあたる地権者及び太田ヶ谷、南町などの地元の方々に対して、測量に入る旨の説明がなされました。今年度内に現地測量に入り、5 年後に工事完了予定を目指して事業を進めていくとのことであります。</p> <p data-bbox="167 739 1133 1019">この都市計画道路は、圏央鶴ヶ島 I C から新たに川越方向、鶴ヶ島駅方面に延伸し、鶴ヶ島駅と一本松駅が一本の道路で結ばれ、市の動脈的な道路として、市内の道路状況、車の流れに大きな変化をもたらすことが予想されます。また、都市計画道路整備に続いて、運動公園 2 期整備の計画も進められることから、人の集まる空間が拡充し、周辺地域の活性化に資することが期待されます。</p> <p data-bbox="167 1030 1133 1153">しかしながら、その反面、周辺地域の生活環境や自然環境への影響等懸念される部分もあり、事業の進捗に併せて、引き続き地元地区等への説明、調整等が必要であると思われます。</p> <p data-bbox="167 1164 1133 1400">隣接する農業大学校跡地活用と併せて三位一体的に進められ、市のリーディングプロジェクトの水土里の交流圏構想の一翼を担う事業であるとともに、財政的にも大規模な集中投資が予想される事業であることから、これらのことを踏まえて、以下の質問をいたします。</p> <p data-bbox="183 1456 1109 1836">(1) 都市計画道路と県道新川越越生線との兼ね合いについて (2) 都市計画道路の整備効果について (3) 都市計画道路及び運動公園 2 期整備の概算整備費及び財源について (4) 都市計画道路及び運動公園 2 期整備のタイムスケジュールについて (5) 都市計画道路及び運動公園 2 期整備を進めるにあたっての周辺対策について</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>3 国内の市町村間交流について (20分)</p> <p>以前には、国内の市町村間交流により、自治体間の相互協力や民間団体等での様々な交流を主題とした施策として、地域間交流というものがありませんが、本市においても、平成3年度に市制施行になった自治体による同期市サミット(日高市、東京都羽村市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市、奈良県香芝市)などの市町村間交流がありました。その他に現在でも、産業祭に参加している北海道清里町、青森県十和田市、長野県飯綱町との交流が、市民団体を中心に行われております。</p> <p>7月に会派民政クラブの政務活動の一環として、市民団体との交流のある北海道清里町を視察して参りました。視察目的のまちづくり景観や特産品づくりとは別に、清里町行政担当者や町議会議員の方々から、地域間交流の拡充についてのご意見をいただきました。現在続けられている産業振興を主眼とした市民団体による交流だけでなく、子ども達の交流や行政担当者の交流など幅広い交流を進めていきたいとのご意見でした。</p> <p>都心に近い本市とは異なり、広大な自然環境や田園風景の広がる清里町との交流は、特に子ども達の体験学習などに大きな効果があるように思われます。また、昨今の予測できない突発的な災害などを考えますと、ある程度離れた地域との自治体間の防災上の連携の必要性は高いと思います。</p> <p>既に行われている市民レベルでの産業振興にかかる交流の拡充も含めて、国内の市町村間交流について市のお考えをお聞きします。</p> <p>(1) 市町村間交流の現状と課題について (2) 小中学生の市町村間交流による体験学習について (3) 今後の市町村間交流への取組みの考えについて</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>